

# 平成27年6月期 決算説明会資料 (JQS 3916)

平成27年8月25日  
デジタル・インフォメーション・テクノロジー株式会社



- 1. 経営方針**
2. 決算概要
3. 成長戦略  
(中期経営計画より)
4. H28/6期の見通し

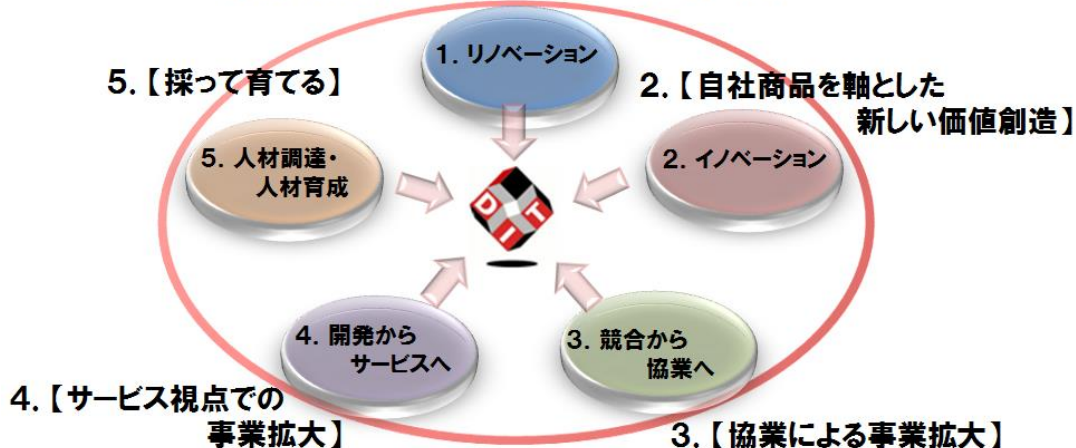
**企業理念**  
 (全体)顧客起点  
 (会社)育成、コミュニケーション  
 (個人)付加価値向上、  
 目的目標をもつ、熱い情熱をもつ

**経営理念**  
 社員の生活を守り、  
 且つ社会に貢献する

**中期経営方針**  
 「付加価値の追求と変化対応への取り組みから、  
 経営の安定成長を目指す」

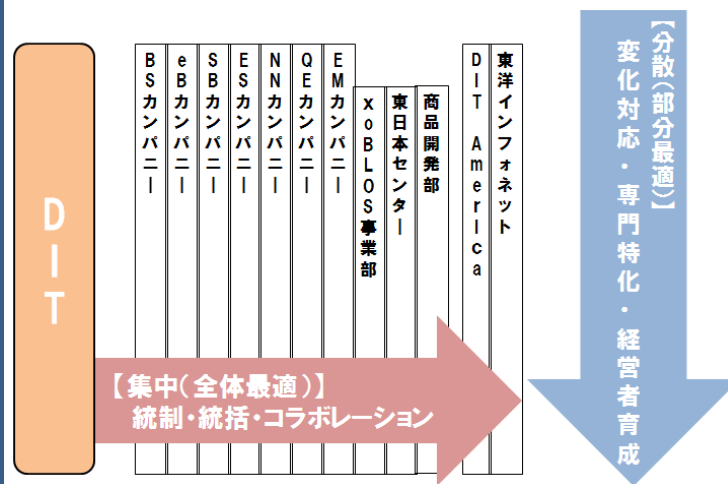
## ■5つの基本的な事業戦略

### 1.【既存事業の改革による事業基盤の強化】



## ■分散(部分最適)と集中(全体最適)の組織戦略

### 組織戦略



### 事業戦略

1. 経営方針
- 2. 決算概要**
3. 成長戦略  
(中期経営計画より)
4. H28/6期の見通し

平成27年6月期  
決算ポイント

## 増収・増益・増配

■売上高:8,492百万円、過去最高更新

■営業利益:427百万円、過去最高を大幅更新

■期末配当:7円→20円に増配(予定)

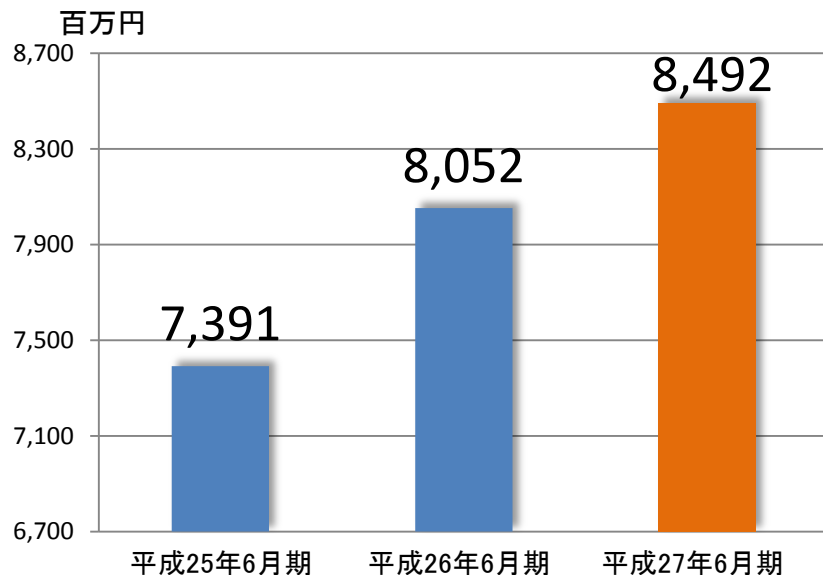
売上高

前期比: **+5.5%**増収  
(+440百万円)

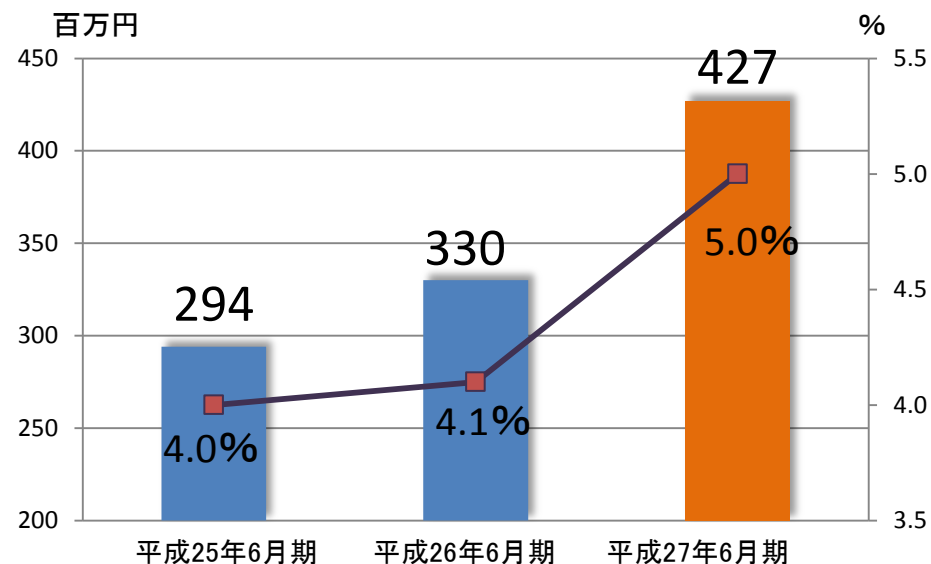
営業利益

前期比: **+29.1%**増益  
(+97百万円)

■売上高(3カ年推移)



■営業利益・営業利益率(3カ年推移)



百万円

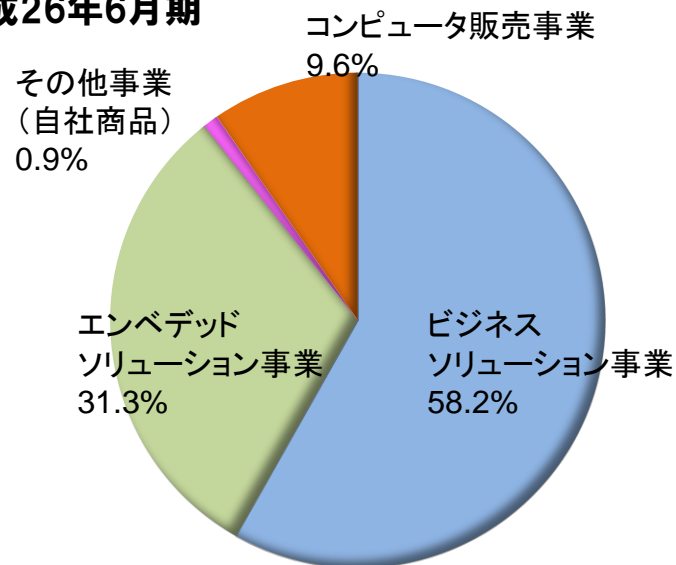
科目	平成26年6月期		平成27年6月期		前期比	前期差の要因
	金額	売上比	金額	売上比		
売上高	8,052	100.0%	8,492	100.0%	105.5%	・ビジネスソリューション事業にて大幅増収
売上総利益	1,640	20.4%	1,902	22.4%	116.0%	・売上高の増加に伴う増益 ・不採算プロジェクトの抑制
販売費及び一般管理費	1,309	16.3%	1,475	17.4%	112.7%	・株式上場関連に伴う費用増 ・売上拡大へ向けた営業要員増 等
営業利益	330	4.1%	427	5.0%	129.4%	
経常利益	339	4.2%	427	5.0%	126.0%	—
当期純利益	209	2.6%	297	3.5%	142.1%	

# ■セグメント別売上高①

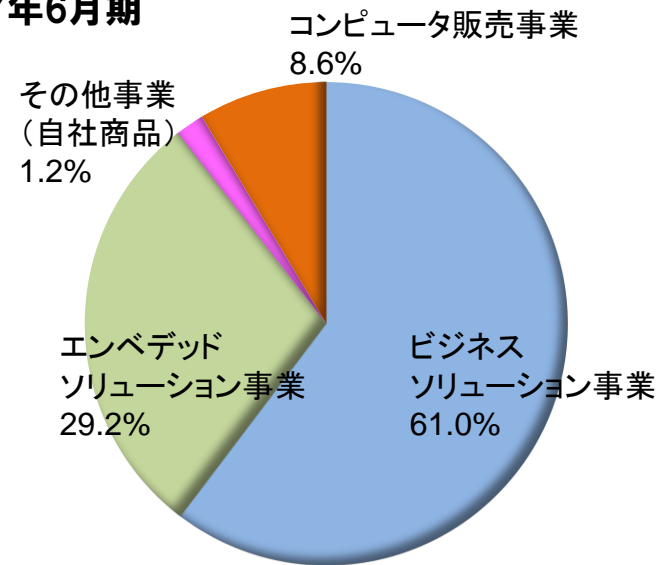
百万円

セグメント	平成26年6月期	売上比率	平成27年6月期	売上比率	前期比
ソフトウェア開発事業	7,275	90.4%	7,761	91.4%	106.7%
ビジネスソリューション事業 (業務システム開発/運用サポート)	4,689	58.2%	5,180	61.0%	110.5%
エンベデッドソリューション事業 (組込み開発/組込み検証)	2,515	31.3%	2,477	29.2%	98.5%
その他事業(自社商品事業)	70	0.9%	104	1.2%	148.6%
コンピュータ販売事業 (カシオ「楽一」等の販売)	776	9.6%	730	8.6%	94.1%
連結合計	8,052	100.0%	8,492	100.0%	105.5%

■平成26年6月期



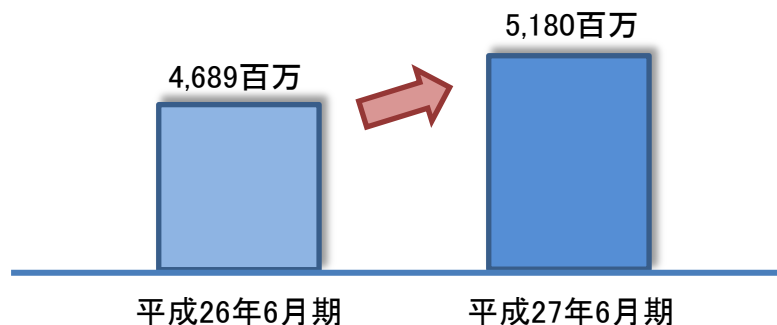
■平成27年6月期





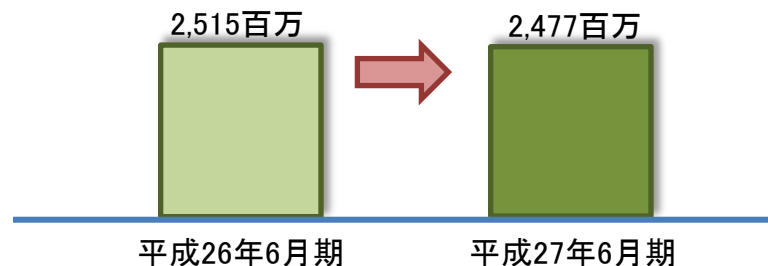
## ビジネスソリューション事業

- 売上高: 5,180百万円 / 前期比: +10.5%
- ・金融、流通市場堅調
- ・大型プロジェクトあり(運輸)



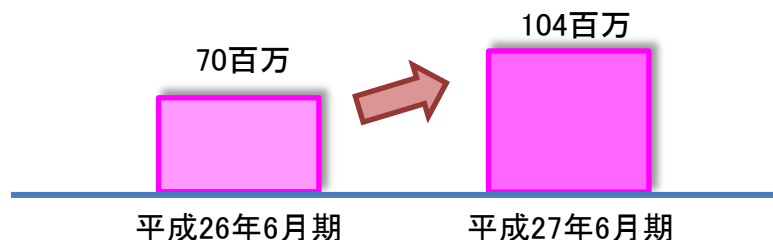
## エンベデッドソリューション事業

- 売上高: 2,477百万円 / 前期比: -1.5%
- ・車載市場堅調
- ・モバイル市場の低迷



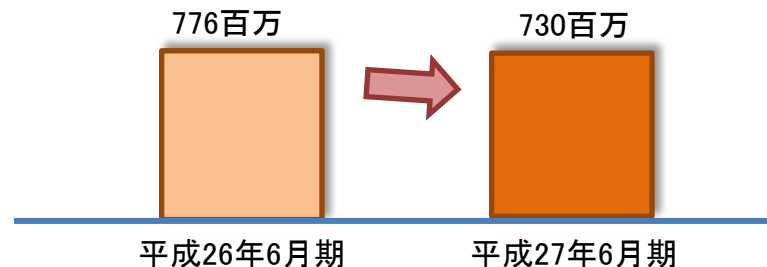
## その他事業(自社商品事業)

- 売上高: 104百万円 / 前期比: +48.6%
- ・WebARGUSのビジネス展開スタート
- ・xoBlosの堅調な推移



## コンピュータ販売事業

- 売上高: 730百万円 / 前期比: -5.9%
- ・前期は消費税特需あり
- ・当期はリプレース堅調



# 貸借対照表

百万円

項目	平成26年6月期	平成27年6月期	前期差	前期差要因
流動資産	1,620	2,301	681	・公募増資に伴う現預金の増加
固定資産	809	735	-74	・有形固定資産、ソフトウェア資産、投資有価証券、繰延税金資産の減少
資産合計	2,430	3,036	606	—
流動負債	1,060	1,078	18	・買掛金、未払金、未払法人税の増加 ・短期借入金の減少
固定負債	435	333	-102	・長期借入金、役員退職慰労引当金等の減少
負債合計	1,496	1,411	-85	—
純資産計	934	1,625	691	・公募増資による資本金等の増加 ・利益剰余金の増加
負債純資産合計	2,430	3,036	606	—

百万円

項目	平成26年6月期	平成27年6月期	前期差	前期差要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	219	294	75	・税金等調整前当期純利益の増加
投資活動によるキャッシュ・フロー	-80	10	90	・平成26年6月期は社内基幹システム更改費用 ・平成27年6月期は大きな設備投資無し
財務活動によるキャッシュ・フロー	-109	45	154	・公募増資による資金調達により増加
現金及び預金同等物の増減額	29	351	322	—
現金及び預金同等物の期首残高	506	535	29	—
現金及び預金同等物の期末残高	535	886	351	—

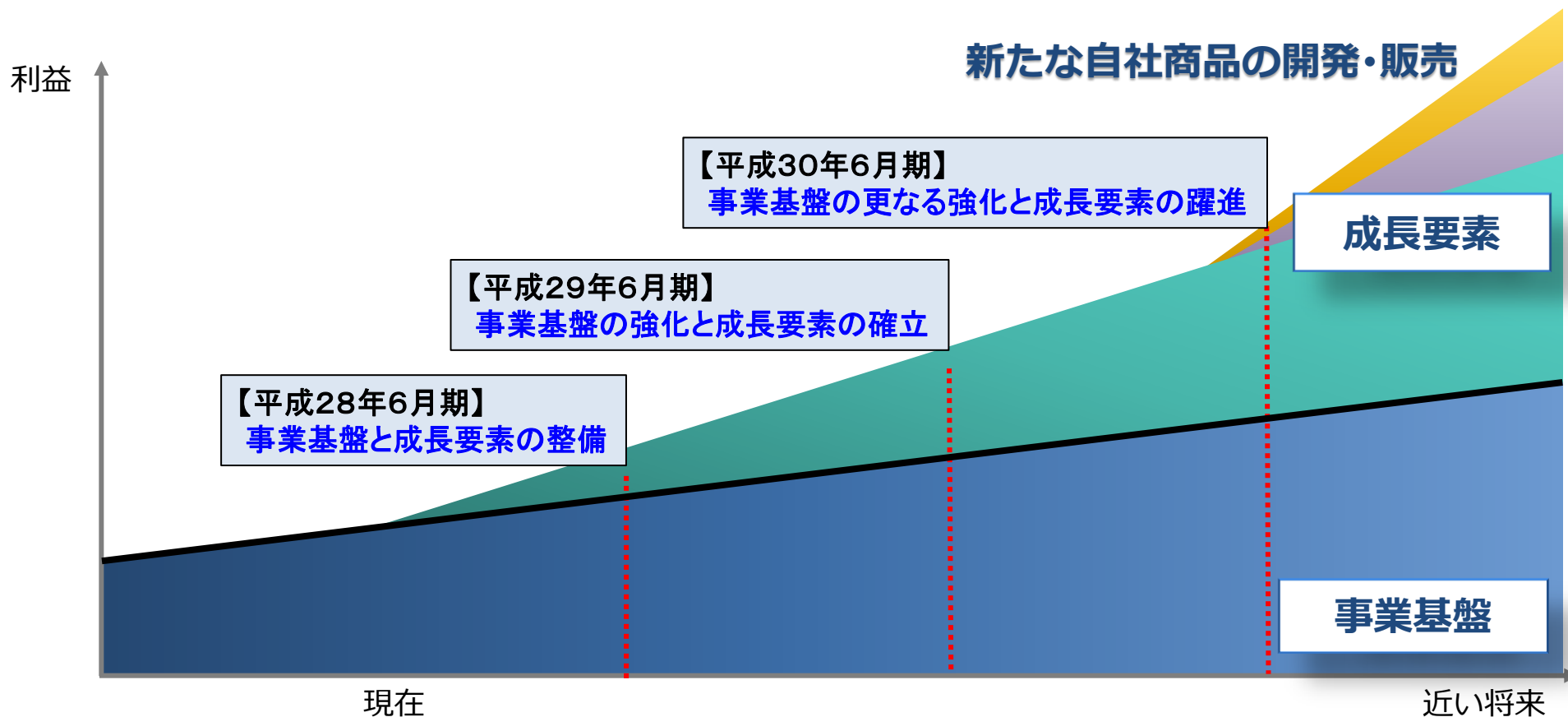
1. 経営方針
2. 決算概要
- 3. 成長戦略**  
(中期経営計画より)
4. H28 / 6期の見通し

事業基盤の強化

■幅広い事業領域で顧客との安定的な取引

成長要素の確立

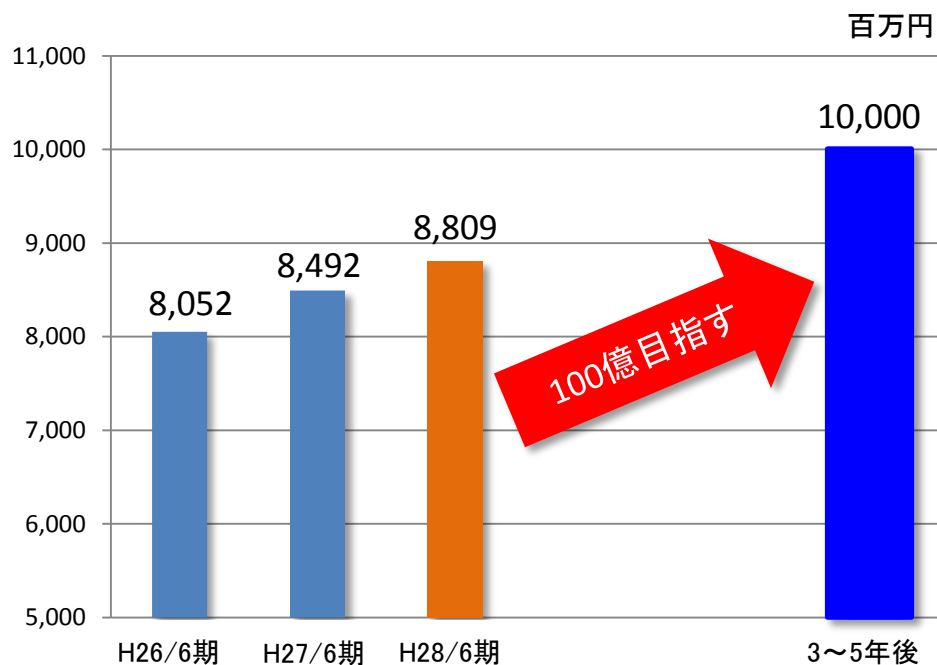
■自社商品を軸とした新しい価値の提供



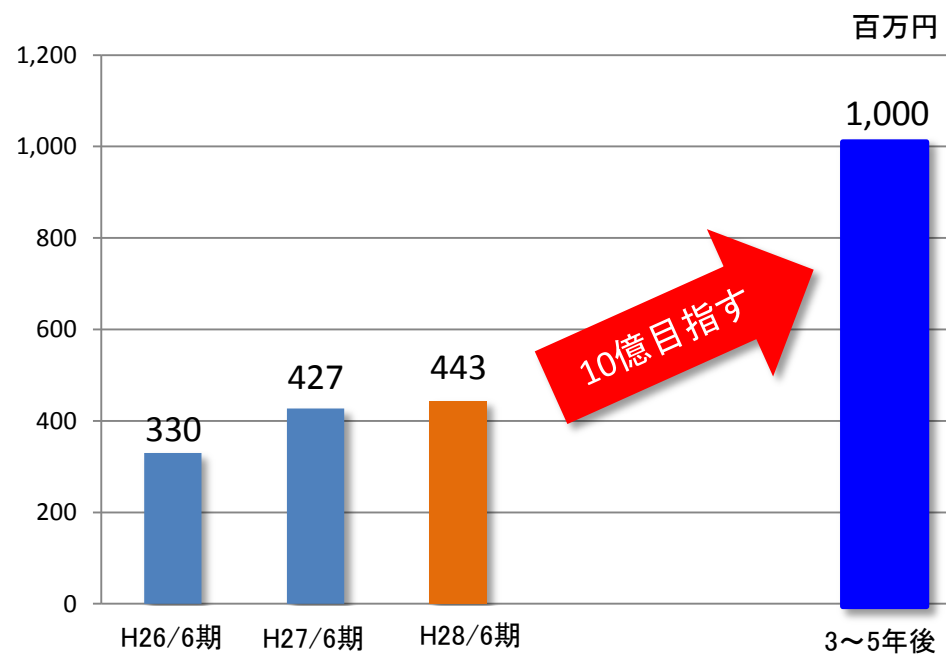
中期目標  
(3~5年以内)

売上高:100億円 営業利益:10億円を目指す

## ■売上高



## ■営業利益



## ビジネスソリューション事業の成長戦略

### ■成長分野への注力

- ・強みである金融分野の深掘り、横展開
- ・成長著しい顧客に歩調を合わせた運用サポート事業の更なる拡大

### ■地方拠点を活用した事業拡大

- ・地方拠点を活用した潜在能力の高い人材の確保
- ・IT多目的センターの更なる活用(有能な技術者で構成、あらゆる仕事に対応)
- ・地方の優良企業を新規顧客として開拓

### ■トータルソリューションの提供

- ・幅広い顧客ニーズに対し、開発、保守、インフラ等それぞれをサービスの部品と捉え、提供することで事業拡大

## エンベデッドソリューション事業の成長戦略

### ■今後の成長が見込める車載事業への注力

- ・モバイル開発で培った通信技術を車載機器開発へ展開

### ■医療機器分野への参入

- ・第三者検証の技術を用い医療機器分野へ参画し、開発業務への業務拡大

### ■新規IoT(※)分野への参入

- ・モバイル開発や情報家電開発で培った通信技術を活かした、O2O(オンラインtoオフライン)サービスのソリューション開発

(※) IoT(Internet of Things:モノのインターネット)とは、コンピュータなどの情報・通信機器だけでなく、世の中に存在する様々なモノに通信機能を持たせ、インターネットに接続したり相互に通信することにより、自動認識や自動制御、遠隔計測などを行うことをいいます。



## コンピュータ販売事業の成長戦略

### ■中小零細企業向けの新しい商材の開発販売

- ・既存顧客への自社商品・他社製品の重ね売り
- ・楽一のオプション製品「楽らくPC出力支援 Powered by xoBlos(※1)」や「楽らくページ(※2)」の販売促進

### ■新規顧客獲得による売上拡大

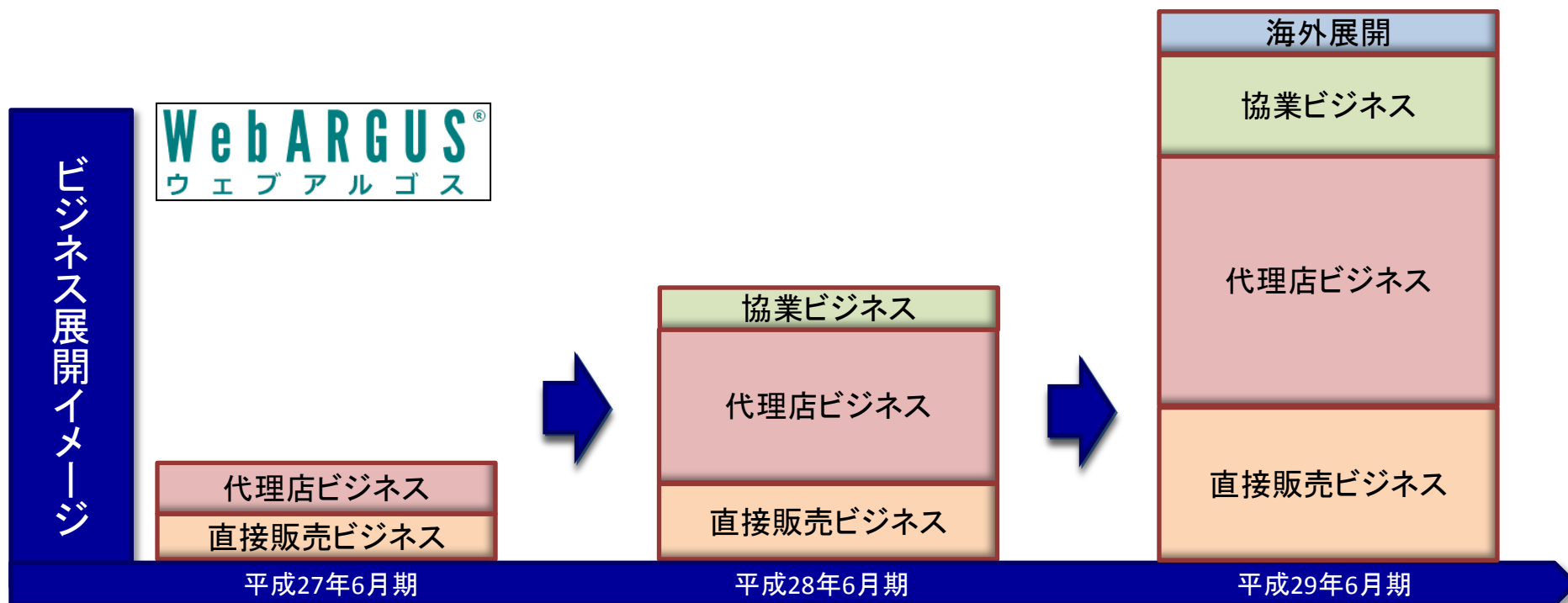
- ・高崎テレコールセンターを活用した新規顧客開拓
- ・営業エリア拡大による新規顧客開拓

※1:「楽らくPC出力支援 Powered by xoBlos」は、直観的な操作性と利便性を取入れた、楽一のデータを最大限に活用する為のソフトです。楽一の売上・仕入取引データや顧客データなどを簡単操作でExcelへ取り出すことが可能となります。

※2:「楽らくページ」は、専門的な知識がなくてもホームページを編集・更新できるようにしたホームページ作成支援サービスです。

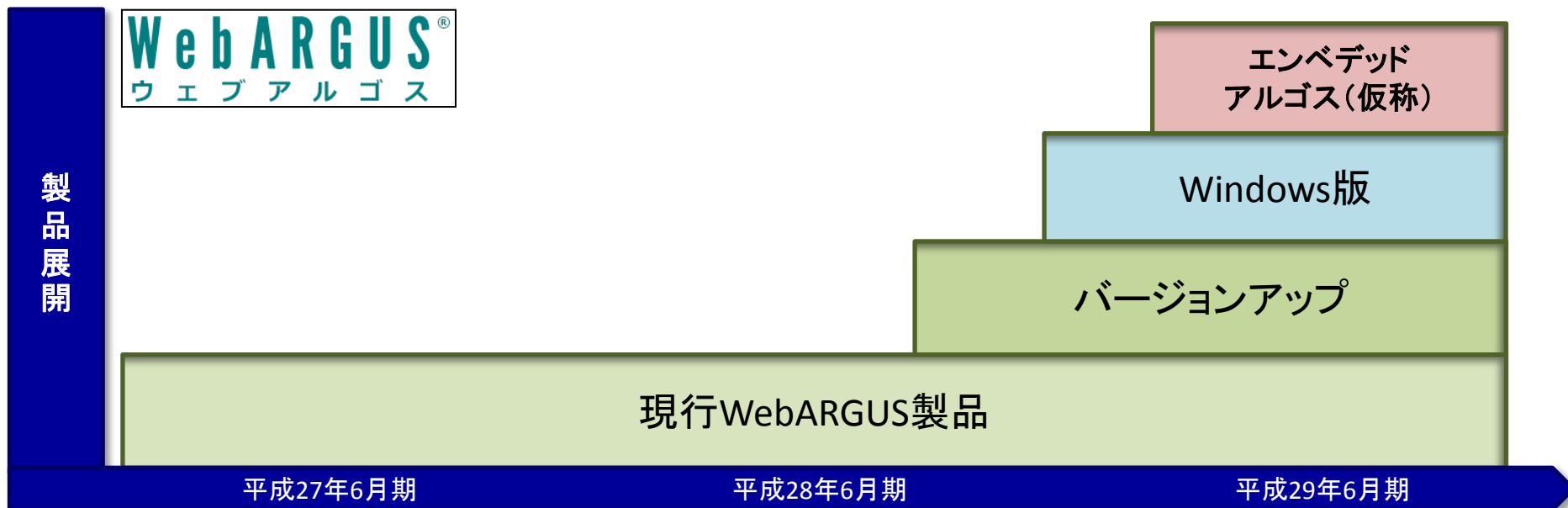
## WebARGUS(ウェブアルゴス)の販売強化

- ①代理店販売の強化: 今期目標として代理店数の倍増(契約済9社/検討中11社)
- ②協業によるビジネス展開: 今期目標として5社と協業(現在3~4社と協業検討中)
- ③海外展開: 今期目標として海外展開へ向けた販路開拓(米国にて商標申請中)



## WebARGUS(ウェブアルゴス)の商品力拡充

- ①現行版バージョンアップ(管理機能強化):年度内リリースへ向け開発中
- ②Windows版の開発・展開:年度内リリースへ向け開発中
- ③IoT時代のセキュリティ対策:エンベデッドアルゴス(仮称)プロトタイプ開発中



## WebARGUS(ウェブアルゴス):セキュリティ意識の向上

### 【課題:企業のセキュリティに対する意識】

セキュリティ意識の高い企業は積極的に導入検討して頂いているが、セキュリティ意識が低い企業は導入まで時間がかかる

### 【セキュリティ意識向上対策】

- ・展示会出展、セミナー開催等を実施し、ウェブ改ざん対策の重要性を啓発
- ・デモサイト(弊社)に対する改ざん攻撃の実態を積極的に公開する

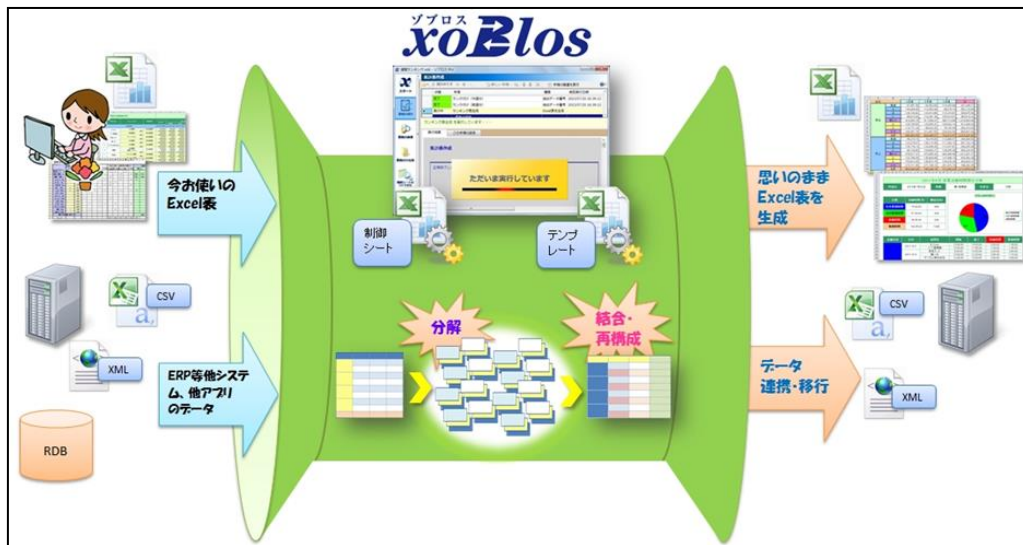


### 【日本政府によるセキュリティ対策】

- ・サイバーセキュリティ戦略本部にて「サイバーセキュリティ戦略(案)」が決定され、9月上旬に閣議決定予定
- ・金融庁が「金融分野におけるサイバーセキュリティ強化に向けた取組方針について」を発表

## xoBlos(ゾブロス)の販売強化・商品力拡充

### ■xoBlos(ゾブロス)とは「データ変換・帳票作成ソリューション」



・エクセルデータの分解/再構成機能の特徴とし、  
様々な形のデータ事務処理ニーズに応える、  
“**エクセルをもっと活かす!**”  
データ変換・帳票作成ソリューションです。

・140社の導入実績があります。

・協業各社の**マイナンバー対応**製品へのオプションとして提供予定。

- ①販売強化:直接販売・代理店拡大:今期目標として代理店20社(契約済15社、検討中5社)
- ②簡単に帳票作成が行える新製品「xoBlosQ」:顧客層の拡大、他社製品との連携推進
- ③新たなビジネスモデル:クラウドサービスとしての提供も検討中

(※)Microsoft Excel は、米国Microsoft Corporationの 米国およびその他の国における登録商標または商標です。

1. 経営方針
2. 決算概要
3. 成長戦略  
(中期経営計画より)
- 4. H28/6期の見通し**

## 売上高

■8,809百万円  
■前期比: +316百万円(+3.7%)

【ポイント】  
WebARGUSはストック型ビジネス

## 営業利益

■443百万円  
■前期比: +16百万円(+3.9%)  
■営業利益率:5.0%

【ポイント】  
成長へ向けた投資費用増(116百万円)  
(新商品開発費用・教育研修施設及び  
社内システムリニューアル等)

## 中期目標実現に向け、初年度は「事業基盤と成長要素の整備」を行う

### ■事業基盤の整備

- ・ビジネスソリューション事業:ニアショア立上げ等の準備期間
- ・エンベデッドソリューション事業:モバイル市場から他領域へのシフト期間
- ・コンピュータ販売事業:市場拡大のための新規開拓期間

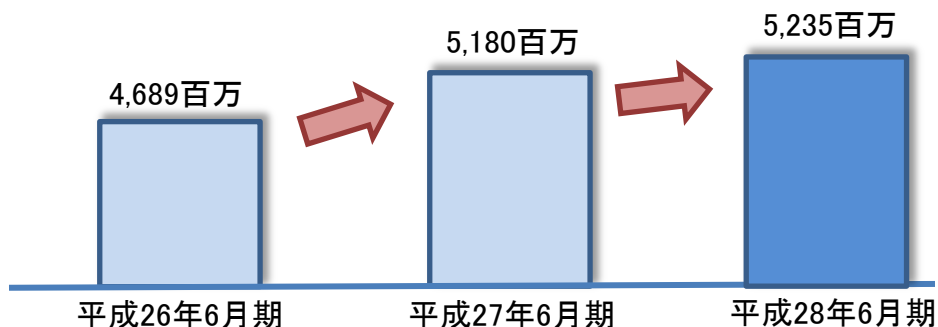
### ■成長要素の整備

- ・自社商品事業:商品力拡充のための開発投資期間

# ■セグメント別売上高の見通し

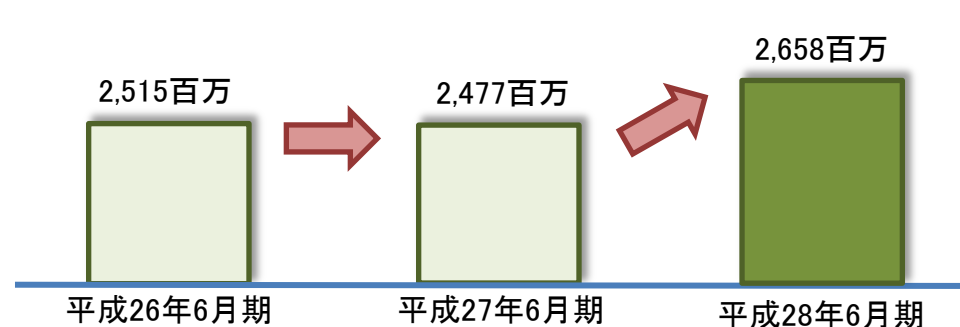
## ビジネスソリューション事業

- 売上高: 5,235百万 / 前期比 +1.1%
- ・引き続き、金融・流通市場堅調(+)
- ・運輸の大型プロジェクト終了(-)



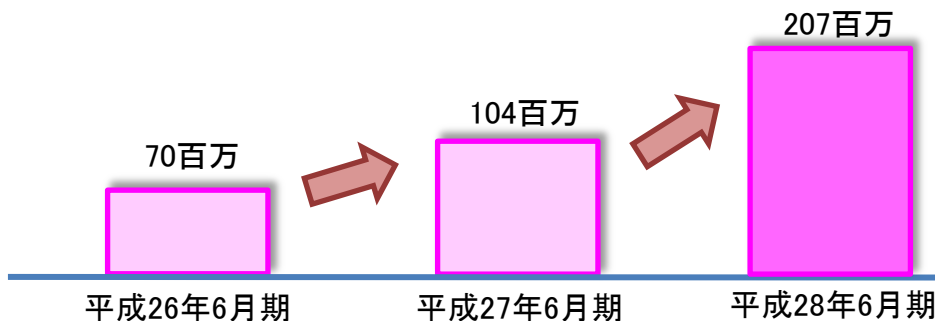
## エンベデッドソリューション事業

- 売上高: 2,658百万円 / 前期比 +7.3%
- ・車載分野の拡大(+)
- ・医療分野の拡大(+)



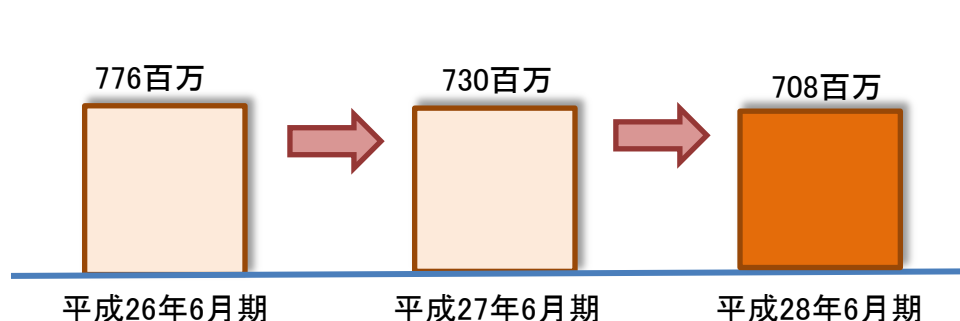
## その他事業(自社商品事業)

- 売上高: 207百万円 / 前期比 +98.9%
- ・代理店強化及び協業による売上拡大(+)
- ・商品拡充による売上拡大(+)



## コンピュータ販売事業

- 売上高: 708百万円 / 前期比 -3.0%
- ・新規顧客獲得(+)
- ・リプレース案件一服(-)

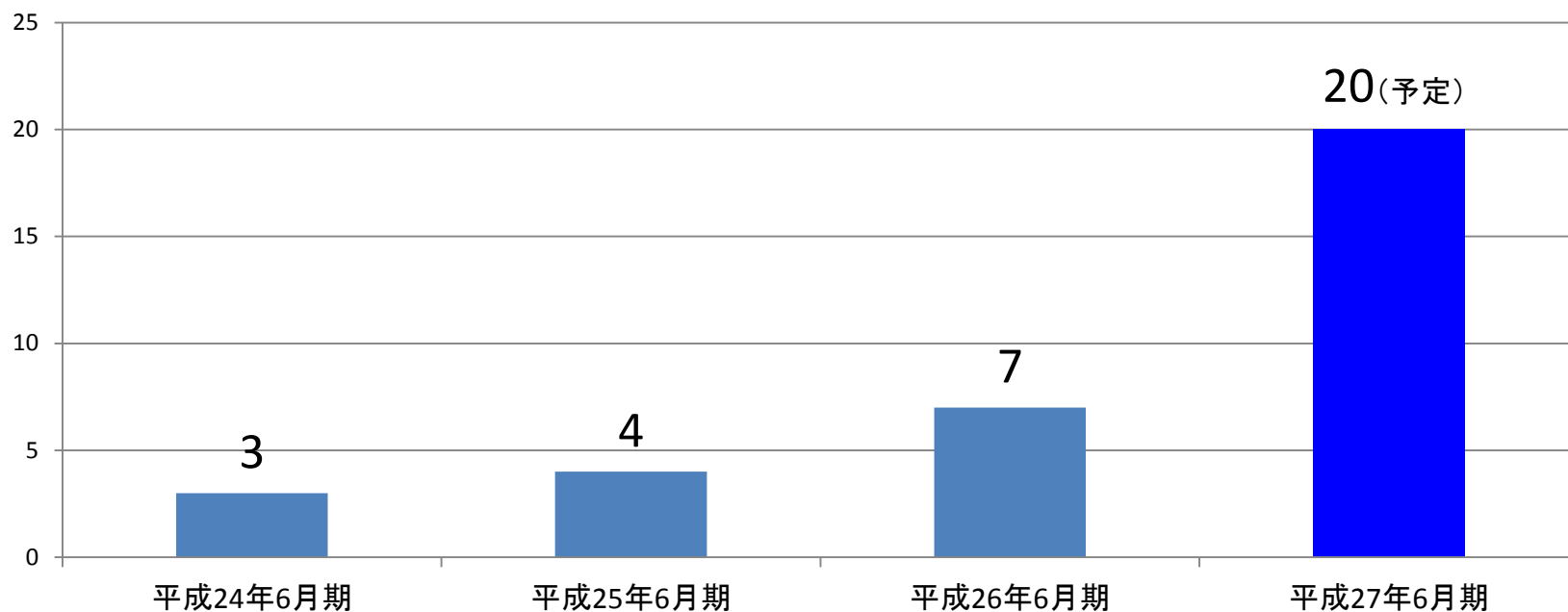




■ 経営成績及び財政状態を勘案したうえで、**配当性向20%以上**を利益還元予定

■ 平成27年6月期は、一株あたり**20円**配当予定

## ■ 配当金推移





## デジタル・インフォメーション・テクノロジー株式会社

- ・この資料に記載された内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- ・本資料において提供される情報は、「見通し情報」を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- ・それらはリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。
- ・今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本資料に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。